

教育総合センター だより

NO. 164

令和 4. 5. 1



『教育は共育』

教育総合センター

所 長 北垣 裕之

令和4年度教育総合センター所長として着任しました北垣 裕之でございます。1年間よろしくお願いいたします。

『教育』という言葉が辞書で引いてみると「教えて育てること」「知識・技術等を教え授けること」とありますが、長年教育に携わってきた私は、『教育は共育（きょういく）』だと考えるに至りました。

教員になりたての若い頃の私は、まさに辞書のとおり「子ども達が卒業するまでにできるだけ多くの事を教えないといけない」と考え先輩や同僚の助けも借りながら毎日全力投球で子ども達と向き合っていました。転勤する度に各学校の個性や地域を知り、それに合わせて対応を変えながら子ども達やその周りの環境とも連携・協力することの大切さを知りました。次第に「教育とは教員だけが孤軍奮闘して成し遂げるものではなく、教職員と保護者や地域の人々と共に子ども達を育ていくものだ」という事を実感するようになりました。

授業・学級運営や部活指導を行う中で子ども同士が教え合ったり、リーダーが育ちグループの能力を高めていくという素晴らしい光景にも出会いました。自分一人で習得できなかったことが仲間のアドバイスでできるようになったり、教える方もどのように伝えるかを工夫することで自分の指導技術の向上につながり新たな知識を得たりします。この事は子どもが自発的に仲間と共に成長していこうとする姿勢を育てなければなりません。仲間の中で前向きに頑張っていけるように子ども

達を支援するのが教育だと感じさせる出来事でした。

その後、教育委員会に配属になり行政の立場から学校との連携や幼稚園から高等学校までの様々な取組を知る機会があり、私の認識の中で「子どものための教育環境」がさらに広がりました。再び管理職として現場に戻った時、学校というひとつのチームで「より良き教育とは何か」と模索していくうちに「教員→子ども」という一方向のベクトルの「教えて育てる」教育に疑問を持ち『教育は共育（きょういく）』であるという考えに行き着いたのです。

教育は教職員・保護者・地域・教育委員会とどれが欠けても成り立たないと共に、力を合わせて子どもを育てていくものだと思います。また、仲間とともに主体的に育てていく子どもを支援していく事がすべての大人の役割だと考えます。とはいえ「最大の教育環境は教員である」と言われるほど教員への負担は大きく、コロナ禍でまだ先が見えない厳しい状況は続くでしょう。教育総合センターでは今年度も研修や調査研究・ICT活用等について取り組んでまいります。センター職員が学校としっかりコミュニケーションを図りながら取り組んでいきたいと思っております。今年度も子ども達の学びのために教育総合センターを十分活用してください。

教育総合センターも尼崎の子ども達の「共育」を担い、共に成長していきます。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

教育総合センターは、「学び支援課」と「学校 ICT 推進課」の 2 課体制で、研修・研究の充実とともに、学校における教育の情報化を推進してまいります。

* 学び支援課

学び支援課では、研修担当が教育関係職員の研修を、企画担当が教育委員会事務局職員等の研修を担当します。また、調査・研究担当が全国学力・学習状況調査やあまっ子ステップ・アップ調査等を担当します。

1 研修担当

今年度から 3 年目となる尼崎市教育振興基本計画の基本方針である「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携」に基づき、次代を担う子ども達の学びを支える教職員の資質向上を図るため、経験年数や職務・職階に応じて、体系的・組織的な研修を実施いたします。また、いじめ防止に関する研修、体罰防止研修も実施いたします。

(1) 教職員研修

研修体系に基づいた各種の研修を実施することにより、教職員の資質と指導力の向上を図ります。主に基本研修（教職年数や職務・職階に応じた研修）と専門研修（教育課題等への対応、指導力の向上など）に分かれています。

○初任者研修（法定研修）の充実

授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関することなど、教員として必要な基礎を身に付けることを目指します。そして初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施します。初任者研修をさらに充実するものとして、1 年目研修に引き続き 2 年目、3 年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね、連続する 3 年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指します。

○中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実

グループによる教科指導や生徒指導の研修から、より実践力を高めるとともに、教育課題を研究することにより専門性を深めます。

共通研修により、尼崎の課題や展望を見つめ、中堅教員としての意識を高め、今後の教育活動に生かしていきます。

○体罰防止研修

体罰事案や全ての学校・園で実施した体罰アンケートの結果を受け止め、市として体罰再発防止の取組を一層強化する必要性から、体罰防止へ向けた教職員の研修を、3 年間集中期間として実施します。今年度は 3 年目で講師については、民間事業者へ委託を行い、対象を管理職、部活動関係教員、教職員の 3 つに分け、それぞれ異なる内容になっています。

(2) 研修をすすめるにあたって

研修には、各校/園の実態に即した「校/園内研修」をはじめ、「教育総合センター実施の計画的に設定された研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営されている取組等があります。それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していけるよう、研修担当がサポートしていきます。

(3) 講師謝金の支払いについて

児童生徒文化充実支援事業の研修に係る講師謝金の支払いは、学び支援課からの直費となります。講師謝金支払いは、講師謝金申請書に必要事項を記入し、研修実施 1 ヶ月前に学び支援課へ送付してください。研修終了後、約 1 ヶ月後に講師指定口座にお振り込みいたします。



2 企画担当

所属の予算管理、文書管理、施設維持管理に加え、教育委員会事務局職員を対象とした職員研修と社会教育主事講習等社会教育主事の養成事業、学校図書ボランティア育成事業、特別支援ボランティア養成事業を担当し、教育関係者の学びを支援します。

3 調査・研究担当

全国学力・学習状況調査や、あまっ子ステップ・アップ調査の結果を分析し、それらを踏まえ関係機関と連携しながら、各校における学力向上施策や、教員が授業改善に活用できる手立てや方法を研究・提案し、学力向上を図っていきます。

また、学びの先進研究サポート事業では、教職員の指導力向上に向けての支援をさせていただきます。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

(1) 学力調査結果の分析

毎年、全国の小学6年生・中学3年生を対象に実施されている全国学力・学習状況調査や、平成30年度より開始された あまっ子ステップ・アップ調査の結果を関係機関と連携しながら分析します。

また、ここで分析した結果を公表して終わりにせず、各学校でどのように評価し改善するのか、いわゆる学力向上のPDCAサイクルの一環として活用する方法を研究します。

(2) 研究部会の運営

当面する教育課題についてその実態を十分把握し、実証的な研究を深め、教育実践に役立つ研究成果を得て、「活用」に配意した本市教育の充実を図るため、以下の研究部会を設けます。

- ・エビデンスに基づく教育実践研究部会
- ・ICT活用推進部会
- ・探求的な学習研究部会
- ・体力向上研究部会

(3) 学びの先進研究サポート事業

教員等で構成された自主研究グループに対して、講師招聘に伴う報償費など研究の充実を図るための活動を支援していきます。

また、「先進地域への短期派遣研修」の支援も行います。具体的には、派遣教員の希望に応じ、先進的研究に取り組む学校園等において、5日間程度の継続的な研修を行うための旅費を支援するものです。

* 学校 ICT 推進課

新しい学習指導要領で「学習の基盤となる資質・能力」の一つとされる「情報活用能力」の育成を始め、文部科学省が進める児童・生徒一人一台端末を整備する「GIGAスクール構想」への対応など、学校における教育の情報化を支援します。

(1) 教育 ICT 環境の整備

「分かりやすい授業の実施と児童生徒の情報活用能力の育成」、「セキュリティ強靱化」、「校務の情報化による業務の効率化」という視点で教育 ICT 環境の一層の充実と適正化を図り、児童生徒及び教職員の ICT を活用する基盤を整備します。

(2) 未来の学び研究事業

社会の変化に伴う新しい教育課題に対する先進的な研究を行い、教員の指導力向上を図ります。また、尼崎市板 GIGA スクール構想の実現に向け、ICT を活用した授業方法に関する先導的な研究を進め、教員の ICT 活用指導力向上を図ります。

- STEAM 教育モデル事業
- AGS リーディングプロジェクト校事業
- ICT 活用推進部会の運営(再掲)
- ICT 活用指導力向上研修 など

(3) 学校ホームページ関係

各学校園からのホームページ更新申請を受け付け、確認・処理し、インターネットへの公開を行うとともに、効果的な情報発信を推進します。また、学校園のホームページ作成を支援します。

学校園の、ホームページによる情報発信は、年々増加傾向にあり、今後も保護者や地域と連携した教育活動を推進できるよう、情報発信の支援をします。



(写真) 研修の様子



(写真) ICT を活用した授業の様子

教育総合センター 事務分掌表 令和4年5月1日現在

教育総合センター所長 北垣 裕之	
学び支援課長 大森 康充	
学び支援課参事(高校研修担当係長事務取扱) 平林 晃子	
研修担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教職員の研修及び研究助成 ※教育情報収集・整理・提供 ※情報誌の発行	
係長	西谷 里美 研修担当の総括、栄養教諭研修、子ども理解(特別支援)情報モラル・セキュリティ研修、特別活動、図書館教育
指導主事	吉向 良太 初任者研修(小・拠点)、3年次研修、算数・数学、理科、音楽、新任教頭研修、養護教諭研修、プログラミング教育 子ども理解(生徒指導)、インクルーシブ教育、指導教員
指導主事	林 玄典 2年次研修、体力向上研究部会、新任校・園長研修 道徳教育研修、特別支援教育関係、異校園種研修 国語、図工・美術、体育
指導主事	中村 匡孝 初任者研修(中)、中堅教諭等資質向上研修、いじめ防止研修 臨時的任用教員資質向上研修、中学校全体教科研究会 新任教頭研修、家庭科、社会科、英語科・外国語、一般教養
* 体罰防止研修、5年次・15年次研修、幼稚園研修は平林が担当	
行政事務員	西川 嘉彦 相談役 教育情報誌の発行
行政事務員	平家 祐孝 学校運営アドバイザー業務
行政事務員	中 俊弘 学校運営アドバイザー業務

企画担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教育総合センターの運営・計画調整 ※教科書センターの管理	
係長	保田 敬子 社会教育主事、学校図書ボランティア、特別支援ボランティア、庶務
主任	宇田 元則 職員研修、予算・決算、庶務、教育総合センターの維持管理
行政事務員	松浦かおり 資料収集・提供、教科書センターの管理
事務補助員	北森 敏恵 企画担当事務補助

調査・研究担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※学力調査(全国学テ/ステップ・アップ)結果の分析・活用、※研究部会の運営	
係長	日野 祐甫 調査・研究担当の総括、ステップ・アップ調査 エビデンスに基づく教育実践研究部会
指導主事	水本 美穂 全国学力・学習状況調査、自主研究グループ 学びの先進研究サポート事業(短期派遣研修支援)
事務補助員	佐野 祥子 分析データ整理等事務補助、研修事務補助

学校ICT推進課長 岡西 勝義	
学習担当 TEL6480-5178 (Fax6494-3151)	
※教育の情報化推進(ICT活用) ※情報教育推進	
係長	山下 崇 GIGAスクール構想対応、情報活用能力の育成
指導主事	両宮 久仁 GIGAスクール構想対応、教育の情報化・情報教育推進
行政事務員	山下 陽一 教育の情報化・情報教育推進
行政事務員	米田 浩 教育の情報化・情報教育推進
事務補助員	小門 彰 情報教育ネットワーク管理事務補助

システム担当 TEL6480-5178 (Fax6494-3151)	
※教育の情報化推進(ICT活用) ※情報教育推進	
課長補佐	奥村 剛 ICTを活用した学習基盤の整備等
係長	後藤 正樹 ICTを活用した学習基盤の整備等
書記	坂根 亘 ICTを活用した学習基盤の整備等
再任用	小原 常哉 ICTを活用した学習基盤の整備等

開館時間ご案内	
開館時間ご案内	平日 午前9時～午後9時

教育情報コーナーのお知らせ

★教育情報コーナーのご案内

教育総合センターでは、ひと咲きタワー3階『教育情報コーナー』において図書の出借をしています。「資料貸出票」に必要な事項を記入して、ご提出ください。

- ・先生方に利用していただきたい本や資料、雑誌等をたくさん整備しています。
- ・原則として、貸出は6冊2週間です。
庁内メール便による貸出・返却もできます。

《庁内メール便による貸出方法》

- 1 教育総合センターホームページを開く。(AMA-NET機に限る)
- 2 トップページの教職員専用ページにある【図書貸出リスト】をクリック。
- 3 【教育情報コーナー図書リスト】をクリック。
- 4 リンク先のエクセルファイル (tosholist2)をデスクトップなどの任意の場所にダウンロードする。
- 5 ダウンロードしたファイルを開き、目的に合った図書を検索する。(「編集を有効にする」「コンテンツの有効化」の表示があればクリックする。)
- 6 希望の図書が決まったら【申請フォームはこちらから】をクリック。
- 7 「申請フォーム」画面に必要な項目を入力して【送信】をクリック。
- 8 受付終了後、本を送付します。

(担当 松浦)

★教育総合センターで、新たな学びを!

教育総合センターには、たくさんの教育の専門書、研究紀要、最新の教育雑誌があります。また、いつでも相談できる研修担当調査・研究担当、学校ICT推進担当指導主事、学校運営アドバイザーがいます。



教育総合センターで
学びのスイッチを入れましょう。
お気軽にお越しください。

★教育総合センターの場所および交通アクセス

住所：尼崎市若王寺2丁目18番3号

- ・「あまがさき・ひと咲きプラザ」(旧聖トマス大学跡)の最も高い建物「ひと咲きタワー」に教育総合センターがあります。本市の北東部に位置し、最寄りの阪急園田駅から、約1.1Kmの距離にあり、徒歩で約15分です。(受付：2階事務室)
- ・阪神バス(11系統 阪急園田駅南側～JR尼崎駅北側)が北側道路(県道西宮豊中線)を概ね1時間に3本運行しており、百合学院前で下ります。

阪急園田駅南側～百合学院 所要時間 約 3分

JR尼崎駅北側～百合学院 所要時間 約 12分

- ・駐車場および駐輪場あり

★『教育あまがさき』の発行

研究を深め、各学校園等の取組やがんばりを紹介します。尼崎の学校園を応援する教育情報誌です。原稿執筆や写真、作品提供にご協力ください。

(担当 西川)

発行 尼崎市立教育総合センター(尼崎市若王寺2丁目18番3号)

発行者 北垣 裕之

題字 岡本 元興(元尼崎市教育委員)